

[概要]

観光地のイメージを形成する情報としてテレビ、映画、雑誌、小説といったメディアの存在が欠かせない。その中でも旅行ガイドブックは地域の観光情報に特化したメディアであり、当該地域のごく一般的な観光イメージを示しているものと考えられ、掘みにくい場所のイメージや表現、とくにその変遷を追うという意味では有効な資料である。そこで本研究では、旅行ガイドブックの計量テキスト分析を通して、1970年代から2022年までの金沢の観光地としてのイメージが変化した過程を、観光行動の多様化や社会的背景との関連に着目しつつ考察することを目的とした。その結果、この期間における旅行ガイドブックが表象する金沢観光のイメージは、兼六園散策や食を楽しむ観光に特徴付けられ、そこへさらに様々な観光資源が追加され、近年では体験型観光へ移行しつつあると分かった。

キーワード：金沢、観光、イメージ、ガイドブック